

事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司地域づくり協議会)
-----	-------------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	健康づくりを目的としたスポーツ交流の推進		
	事業名	健康づくり推進事業	決算額	50,514円
②	視点	長沢池周辺を地域内外の交流及び憩いの場として整備		
	事業名	環境美化事業	決算額	277,791円
③	視点	地域住民の安全確保のための防災意識の向上と避難行動の徹底		
	事業名	防災活動推進事業	決算額	46,129円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①フレイル予防に向けたウォーキング実施した。年齢や体調に合わせて、無理なく継続的な運動習慣を身に付け、運動機能の向上によりフレイル予防につなげていく。今後はウォーキング人口の裾野を広げていき、地域の健康寿命を延ばす取り組みを行う。	◎
②「鑄銭司の風景」をテーマに、鑄銭司の四季折々の美しい風景や行事の写真を掲載した。カレンダーに地域行事を入れたことにより、地域住民に地域行事を知ってもらうことにつながり、自治会活動への理解と協力が得られやすくなった。	◎
③地域住民全員に共通する防災をテーマに、地域全体で防災訓練を実施した。その中で、緊急連絡網の機能確認をはじめ、避難訓練対象地区では過去の災害についての共有化や避難場所を決定する形での訓練を行い、自助・共助の防災活動が実施できた。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

総務企画部会では、令和7年度に周防鑄銭司がこの地に設置されて1200年の節目の年を迎えることから、令和6年11月10日(日)鑄銭司ふるさとまつりにおいて、周防鑄銭司遺跡跡から出土した4種類の銭貨をデザインした模倣通貨(鑄銭司通貨)を使用して、平安時代のような屋号をつけたお店(バザー)で買い物ができるイベントを行い、地域住民の交流の場づくりになりました。

教育福祉部会では、フレイル予防に向けたウォーキングを実施し、記録表に日々歩いた歩数を記入することにより運動量を実感でき、継続的な運動習慣を身に付けることにつながりました。

地域防災部会では、大村区4地区の146人が参加し、地震を想定した避難訓練を実施。その他の地区では情報伝達訓練を行い地域防災力の向上を図ることができました。

環境部会では、長沢池池畔の芝桜、フジバカマの草取り・草刈り・水やり及び環境整備を定期的実施し、憩いの場づくりの推進ができました。

各部会とも、年度当初の計画通り事業推進できましたが、これまでの振り返りを行い令和7年度の地域づくり活動に反映させてまいります。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5,181,928円
事務局の 運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名・事務局員4名、計5名体制(5月に1名退職、1名採用したため実質4名体制) (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 事務局長1名、事務局員4名が協力して地域づくり業務にあたり、効率的かつ的確な事務局運営を行うことができた。 (今後に向けて) 専門部会の部会長等と事務局が事業の進め方について綿密に打合せを行い、効率的な事業運営を実行する。

(2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	103,358円
事業概要	(実施内容) 自治会通信・自治会報の内容充実 (実施時期) 通年 (参加人数) ①800世帯・企業51社 (成果) ①自治会通信7回発行・自治会報(総会報告書)1回発行。 ②ホームページへの自治会通信アップロード(7回) ホームページリニューアル (評価) 地域づくり活動の内容や情報を地区民に周知してもらうため、広報誌やホームページを活用し、広く理解と協力が得られた。広報紙づくりの勉強会にも参加した。 (今後に向けて) 分かりやすく、楽しんで読んでもらえる広報紙作成のため、地域に密着した情報収集や情報発信をして行く。また、広報誌作成のための勉強会等にも積極的に参加していく。

事業名	地域振興・交流事業
事業費	484,496円
事業概要	(実施内容) ①地域行事等の運営の支援 ②地域と企業との交流事業開催 ③周防鋳銭司設置1200年記念事業(プレイベント) (実施時期) ①4月、11月 ②1月 ③11月 (参加人数) ①500人 ②60人 ③500人 (成果) ①地区民体育祭や鋳銭司ふるさとまつりに支援を行った。②新年互礼会を開催。 ③ふるさとまつりで、「鋳銭司通貨でお買い物」を企画し、鋳銭司で発見された通貨を印刷した鋳銭司通貨を使って平安時代風の店名を掲げた模擬店で買い物をしてもらった。 (評価) ①多くの参加者があり賑わった。 ②地域の企業や副市長をはじめとする市関係者、地域住民が60人集い新年互例会を開催した。全ての企業・商工振興会からご挨拶をいただき、文化財保護課から周防鋳銭司設置1200年について説明があった。 ③周防鋳銭司で鋳造された銭貨に親しんでもらえた。 (今後に向けて) 地域のイベント等に企業の参加を促し、地域住民と交流が深められるよう工夫する。 令和7年度の周防鋳銭司設置1200年に向けて、地域住民により一層の浸透を図る。

(3) 地域福祉

事業名	子ども教育・高齢者福祉関係事業
事業費	249,691円
事業概要	(実施内容) ①子育て環境の整備(子育て支援) ②子どもの自立支援(子育ての集い) ③クリスマスイルミネーションフェスティバル ④認知症サポーター養成講座参加 ⑤認知症声掛け(徘徊)模擬訓練参加 (実施時期)①②5月 ③12月 ④9月 ⑤10月 (参加人数)①48人②44人 ③200人 ④42人 ⑤36人 (成果) ①②子どもの自立支援をはじめ、子育て環境の整備、幼稚園・小中学校と地域との連携事業の支援を行った。 ③イルミネーションの設置を6年度を最後とし、イルミネーションフェスティバルファイナルを行った。わくわく学級によるハンドベルの演奏があり、子ども達はリース作りやゲームを楽しんだ。 ④⑤高齢者の安心安全が得られるために見守活動の研修をおこなった。 (評価) ①②子どもの自立及び子育て環境整備に役立った。③フェスティバルは多くの子ども達の参加があり盛況でした。イルミネーションの点灯期間は概ね1か月で、電球切れ等のトラブルは無かった。④⑤多くの方が講座や訓練に参加してくれたことで高齢者の安全安心につながった。 (今後に向けて) ①更に多くの子育て世代との交流の場作りと、幼稚園・小中学校と地域の連携を深める。 ②イルミネーションの飾り付けやフェスティバルは経費の関係等で令和6年度を最後とした。 ④⑤多くの方がきめ細かい見守りが出来るよう参加を促す。
事業名	健康づくり事業
事業費	50,514円
事業概要	(実施内容) フレイル予防に向けたウォーキング実施 (実施時期)3月～2月末 (参加人数)約60人 (成果) 記録表に日々歩いた歩数を記入することにより運動量を実感でき、継続的な運動習慣を身に付けることにつながった。また、期間中の到達歩数によりくじ引きを行うことで、やる気を増進させた。 (評価) ウォーキングによる運動機能の向上によりフレイル予防につながった。 (今後に向けて) ウォーキングの裾野を広げていき、地域の健康寿命を延ばす取り組みを行う。

(4) 安心・安全

事業名	防犯対策推進事業
事業費	215,510円
事業概要	(実施内容)①早朝夜間青色防犯パトロール実施 ②新規防犯灯設置等 (実施時期)①、②通年 (参加人数)①早朝夜間・四辻駅前青色防犯パトロール23人 ②新規防犯灯設置なし (成果)早朝夜間地区防犯対策協議会と連携し、「青色防犯パトロール」を早朝50回、夜間48回実施したことで、地域内の犯罪抑止力強化につながった。 (評価)早朝夜間の青色防犯パトロール実施により、地域住民の安心安全につながっている。地域内の防犯灯は正常に機能を発揮している。 (今後に向けて)高齢化の進展により、防犯灯が新たに必要なのは無いが、また、不要になった防犯灯が無いが、地域からの情報収集に努める。

事業名	防災活動推進事業
事業費	46, 129円
事業概要	(実施内容)①住宅用火災報知器の設置促進 ②防災訓練の実施③救命講習会の開催 (実施時期)①8月～2月②10月③12月～2月 (参加人数)①4軒②169人③延べ40人 (成果)大村区4集落の146人と現地対策本部の23人で合計169人が参加し、地震を想定した避難訓練を実施。その他の地区では情報伝達訓練を行った。 (評価)単位自治会が主体的に地震についての災害想定を行い、緊急連絡網の整備や、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、各地区の実情に応じた防災訓練ができた。 (今後に向けて)令和7年度今宿区、令和8年度鷹ノ子区、令和9年度和西区を避難対象にして実施する。
事業名	交通安全推進事業
事業費	12, 330円
事業概要	(実施内容)交通安全運動期間中に地元企業を訪問し、交通安全の呼びかけとマスコット等の配付 (実施時期)9月 (参加人数)3人、7企業 (成果)地域サークルの協力により製作した、交通安全マスコット、交通安全コースターを地元企業に持参し、交通事故防止に向けた要請活動を行った。 (評価)地元企業に対して、交通事故防止の協力要請を継続的にすることで、交通安全意識の高揚が図れた。 (今後に向けて) 鑄銭司第2団地の企業の一部が稼働を始めたことから、今まで以上に交通量の増加が予測されるため、より一層の交通安全活動に取り組む。

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	3, 993, 000円
事業概要	(実施内容)単位自治会からの要望申請で道路補修工事及び水路工事等に対応。 (実施時期)通年 (成果)生活道路の舗装1件、農業用水路の改修6件の実施ができた。 (評価)水路の修復を実施できたことで、防災対策にもつながった。 (今後に向けて)地域内の要望を把握し、必要性が高いところから対応していく。

事業名	環境美化運動事業
事業費	277,791円
事業概要	(実施内容)①松島(弁天社)の整備、大平山の桜等の自然環境保全、②地域一斉清掃活動の推進、③芝桜、フジバカマの管理など花づくり活動及び環境整備の推進 (実施時期)①2月 ②11月 ③6、7、8、9、10、12、2月 (参加人数)①10人 ②50人 ③延べ61人 (成果) ①松島の枯れ枝や枯葉の回収搬出を実施したことで、快適な憩いの場となった。②通学路や歩道に放置されたゴミや空き缶等の回収を実施し、クリーンな地域づくりに貢献できた。③長沢池の芝桜や大平山のフジバカマ畑の草取り及び水やりと整地拡張及び周辺の伐採など大規模な整備を実施した。 (評価) ①地域の憩いの場としての美化活動が継続できた。 ②地域の清掃活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 ③地域の憩いの場づくりを継続、拡大できた。 (今後に向けて) 鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえ、また行ってみようと思ってもらえるように、美化活動・花のある地域づくり活動を継続する。

(6) 地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	254,567円
事業概要	(実施内容) ①周防鑄銭司を載せたカレンダー制作 ②写真講座開催 ③ご当地キャラクター作成 (実施時期)①3月 ②7月、9月、12月 ③11月 (参加人数)①約800世帯・51社 ②30人 ③24人 (成果) ①令和7年に周防鑄銭司が設置1200年を迎えるにあたり「周防鑄銭司設置1200年」と題してカレンダーを制作し1200年のPRを行った。 ②講師を迎え3回勉強会を開催した。 ③レノファ山口とのコラボでレノ丸のご当地キャラクターの公募を行い、24点の応募があり、優秀作品をふるさとまつりで表彰した。 (評価) ①地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすくなった。また地域でのさまざまな取組みの再発見に繋がった。 ②写真講座を多くの方に受講してもらい写真のスキルアップを図り、自治会通信やカレンダー等への写真の提供に繋げて行くことができた。 ③小学生や中学生から多くの応募があり、地域の偉人や歴史などを学ぶキッカケとなった。 (今後に向けて) 地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に興味もってもらいを参加する人の拡大につなげていく。

事業名	伝統文化の継承事業
事業費	178,393円
事業概要	(実施内容) 伝統芸能伝承活動への支援 (実施時期) 5月、7月、11月 (参加人数) 約150人 (成果) 鑄銭司小学校運動会において小学生全員とボランティアの中学生が笠踊りを披露した。また、七夕まつりやふるさとまつりにおいても笠踊り伝統保存会を中心にわくわく学級の子ども達や中学生などで踊りを披露した。伝承活動の継続と継承者の育成が図れた。 (評価) 鑄銭司小学校の教員・生徒や保存会の方々と練習会を開催するなど、伝承活動を継続実施した。 (今後に向けて) 運動会やまつりなどで笠踊りをPRする機会を増やし、新たに踊りの参加者を増やし、交流の場を通じて地域の貴重な伝統文化の継承を図る。

事業名	ふるさと歴史勉強会事業
事業費	22,340円
事業概要	(実施内容) ①文化財、史跡を分かりやすく巡る ②ふるさと歴史勉強会 (実施時期) ①通年 ②11月23日 (参加人数) ①5回 ② 55 人 (成果) ①鑄銭司の文化財や史跡を巡るツアーに参加してもらい、一緒に歩きながら文化財や史跡の説明を聞いてもらった。また、銭貨造り体験等で地域の歴史についても学んでもらえた。②「大村益次郎と西洋兵学・近代軍制」という演題で竹本知行氏の講演会を開催した。多数の受講者があり盛況だった。 (評価) ①②講演会やツアーに参加してもらうことで地域内外の方々との交流が図れ、地域の歴史や文化財や史跡に興味を持ってもらい、知ってもらうことで地域の情報発信につながった。 (今後に向けて) 今年度盛況であった専門家によるふるさとの歴史を学ぶ講演会や、文化財、史跡を巡るツアー等、魅力あるイベントを企画して、鑄銭司地域内外の方との交流を促進する。

(7) 地域学習

事業名	周防鑄銭司遺跡発掘調査支援事業
事業費	44,548円
事業概要	(目的) 地域を知り誇りをもって次世代につなぐ (事業内容) 「周防鑄銭司遺跡」の冊子発行 (実施時期) 通年 (参加人数) 10人 (成果) 設置1200年記念「周防鑄銭司」の冊子で使うキャラクターをデザイナーに2点作ってもらった。 (評価) 冊子の挿絵及びキャラクターを制作できた。 (今後に向けて) 令和7年度の始めに1500部を発行予定。